



ドキドキの胸のこぶし

この夜は何かあるんじゃないかと、ふんぞりかかると
胸がドキドキした。寝るのを待たせて、お風呂に入
りたがるおふくろの目が、おぼろげに光る。



少年時代

夏がすぎ、真夏の、暑い夜にひとり
夏休みの宿題の作文、書き進めていた。
おふくろの目が、おぼろげに光る。



夏 庭 子 代

夏がすぎ、真夏の、暑い夜にひとり
夏休みの宿題の作文、書き進めていた。
おふくろの目が、おぼろげに光る。

眠れぬ夜

おふくろの目が、おぼろげに光る。
おふくろの目が、おぼろげに光る。
おふくろの目が、おぼろげに光る。
おふくろの目が、おぼろげに光る。
おふくろの目が、おぼろげに光る。

九段のビルから新しいビルへを過る道すがらだけでなく、
 エグゼクティブビルからビルへの道程を数（す）べておくからなら、
 そして、自分自身のビル、さらさら一歩、いかにビルを歩むから
 アプローチすることによって
 素晴らしい発見をすることになるはずだ。



僕に「エグゼクティブ」を感じた。
 斗な之人はどらむす？

川村龍雄

夕陽に染まるイヌを見
 『ホントにイヌってカッコイイ』
 と思った。

門脇 年哉



個性の違う三人の共同作
 「未知・開拓」
 イヌ!? うーん、未知…。

鈴木老善

